幼稚園入園·進級式



小学校入学式誓いの言葉



中学校入校式誓いの言葉



高校入学式誓いの言葉

SUG英智

聖ウルスラ学院

英智報 vol.43.2022.5.25

ようこと新入園児・新入児・新入生!

新入生の皆さんへの願い

―自分自身の人生をしっかり歩んでいける底力を―



聖ウルスラ学院英智で学ぶことになった 皆さんと保護者の方々に、改めて本学院の 願いを期待しているところを申し述べたい と思います。

本学院はキリスト教カトリックも精神に 立つ学校です。皆さんとの出会いも、神様 D導きによるものと感謝しています。お互い

と呼ばれる大きな力の導きによるものと感謝しています。お互い 大きな力によってこの世に生を受け、今日まで生かされてきたわ けです。そして皆さんお一人お一人が、他の人と比較できない独 自の存在なのです。このことを十分に理解し、自分自身の人生を 稔り豊かな形で歩んでいける力を本学院で培ってほしいと心から 願っています。

カトリックは、この二千年間ヨーロッパの精神的伝統となってきましたが、元々は「普遍」という意味です。今日では、この「普遍」という基本理念に立ち返り、どの国どの文化でも大事されてきた真実や真理を、個々人が生きる上でも、社会の在り方としても大事にしていく、という考え方に立っています。カトリック学校としての本学院は、この考え方を尊重し、見かけや表現は違っていても、仏教を始め諸宗教の伝統や精神をも尊重し、大事にしていきます。そうした広い土台の上に立って、本学院は、ここ日本で長い時間をかけて練り上げられてきた固有の伝統や精神を大事にします。とりわけ、本学院が、元伊達伯爵邸の敷地を譲り受けて一本杉キャンパスとしているという由来を尊重し、「仙台藩作法」に代表される旧伊達藩以来の伝統・文化を大切にしていきます。

本学院で学校生活を送る皆さんは、こうした聖ウルスラ学院英智の基本理念を十分に理解し、自分自身の未来に向かっての大きな成長のために生かしていってください。お一人お一人の聖ウルスラ学院英智での有意義な学校生活を期待しています。

佐取園長からの【メッセージ】

きれいな桜の下をグレーの園服に水色のベレー帽、引きずりそうなカバンを肩にかけ、母親の手に引かれながら講堂入口へ…。いつもの入園風景です。会場ではここ数年保護者が子どもの隣に着席するので、子どもたちも安心して泣くこともなく腰かけています。明日からの園生活に保護者の方が不安いっぱいといったところでしょうか。式は祈りから始まり可愛らしい手をそっと合わせて、神様とお話をします。そして、手遊びをニュニコ顔で行い、3歳の子供たちにとっては、意味の分からないまま式が終了。

その後クラスに入り、担任の話を聞き、場所 を確認して帰ります。コロナ禍で日時をずらし て行う年中・年長の「入園進級式」。1~2年の 経験の違いは大きく、進級した子どもたちはし っかりと前を向いて着席し、自信に満ちた姿で 式に出席しています。子どもたちの気持ちを大 切にし、それぞれに寄り添った指導を心掛けた いと思います。新たにはじまる園生活、友だち とのびのび遊ぶ中で仲良くするとはどういうこ とかを学んでほしい。神から与えられた一つの 命を大切にし、周囲に心配りのできる人、そし て、心から「ありがとう」と感謝できる子ども たちを育みたいと思います。また、けじめを大 切にし、今どんな時か、どのようにしなければ ならないかを、考える子ども、「よく見る・よく 聞く・よく考える」そして、何事も最後まであ きらめず頑張れる子どもになってほしい。教職 員と保護者と共に、未来ある子供たちのために、 手を取り合って歩みます。明るく元気な声が、 園舎内外に響く毎日でありますように…。



幼稚園入園・進級式

聖ウルスラ学院英智小学校入学式

【堀越輝さん誓いの言葉】

かわいいなの花が咲き、きれいな桜の花もつぼみが柔らかくなってきました。

今日から私たちは聖ウルスラ学院英智小中学校の1年生です。僕はランドセルを背負って学校に行くのを楽しみに待っていました。今はうれしい気持ちで一杯です。僕は絵を描くことが好きなので小学校では図工の時間を楽しみにしています。また、算数の引き算のお勉強も頑張りたいです。それから友だちを一杯つくって力を合わせて新しいことにも挑戦していきたいです。これからどうぞよろしくお願いします。

【校長式辞】

よいこになる三つ約束。

よく見て歩く元気な子。交通事故等に遭わないように信号や車をよく見て、元気に学校に登校しましょう。二つ目、いは、「いじめをしない優しい子」お友達をからかったり、意地悪をしたりしない、心優しい子になりましょう。三つ目、こは、「ことばははっきり明るい子」自分の名前を呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をします。そして挨拶も「おはようございます」「お願いします」と自分の方から元気よくあいさつをします。この三つが1年生の皆さんと校長先生の最初に約束です。



「祝福の歌」高等学校合唱部

聖ウルスラ学院英智小・中学校入校式

【大宮侑己さんの誓いの言葉】

新たな学びへの挑戦を目標に掲げ邁進していきたいと決意を述べました。新型コロナや戦争や、紛争などの様々な困難な問題を抱えている世界において、平和の種をまく人になれるように、仲間とともに知恵を出し合い、創意工夫しながら自分たちにできることを見つけ実行していきたいと力強く誓いの言葉を述べました。



【校長式辞】

聖ウルスラ学院英智高等学校を見据えた学び、そして、6年後の自分を見据えた学校生活がはじまりました。先ずは、中学校課程3年間の成長を図るために意識して取り組んでほしいことを話します。1、健やかな体力づくりと精神力の鍛錬を目指し、自ら努力すること。逃げない諦めない果敢に挑戦する精神力と体力の強化。2、自らの決意により目標を立て勉強する計画と実践。自らの時間管理による生活管理のできる人なる。3、人の心がわかる賢く豊かな心の持ち主になる自らの工夫と実践。情報処理能力と情報活用能力による賢い自分づくり。良心の涵養による自由の精神にみなぎる強い人になろう。自分の素晴らしさを発見して自ら輝く自分探しをして欲しい。「自己肯定感を持ち自立心を養い、互いの人格を尊重し合えるコミュニケーション力」を育んでほしい。そして、尊厳な命が失われる紛争に大きな衝撃を受けている今、希望と平和の種をまくために、対話による深い学び合いのできる思考力、分析力、表現力が重要であり、真善美を求め信望愛を実践する人になることの重要性を自覚して生活してほしい。

聖ウルスラ学院英智高等学校入学式

【校長式辞】



人生には様々なプラスの出来事もマイナスの出来事もあります。マイナスと思う 出来事の中にこそプラスの宝が秘められているということ。マイナスを前向きに受 け入れ前進することによってプラスの輝きが生まれます。人間は試練の数だけ成長す るということを高校生活を通して実体験してほしい。青年期の成長のためには、「考 える力」を磨いていくことが必要です。この「考える力」を磨く三つの秘訣を伝えま

す。その一つは、「あなたの人格を本気で磨き上げていくために仲間とともに、確かな高次元の学力を身に着けてほしい。果敢に、ひるむことなく諦めることなく意欲的に「考える勉強」に励んでほしい。「学校は勉強して賢くなるところです」、「賢い人とは人の心がわかる共生力を身に着けた人」です。放課後の今一つの汗をどのようにかくのか。全国レベルの更なる勉強に挑む汗。あるいは特別活動・部活動・ボランティア活動などとともに両立させて勉強する汗。青年期の「考える力」を育む尊い勉強の汗を体験してほしい。二つ目は、活動する自分を静かに考え振り返る時を持つように工夫してほしい。自分を律することの出来る力強い自由な人となるためには、「自分と正面から考え向き合う」ことが大切です。三つ目は、喜怒哀楽を共有でき、そして、「生き方や真理について考え語り合える友」を見いだしてほしい。「志を同じくする友」を見いだしてほしい。

聖ウルスラ学院英智高校生として、自ら輝き、志を実現するための様々な力を身に着け、変容と成長を成し遂げて欲しい。先生方はゆるぎない教育をしていきます。先輩方も自分の経験をもとにきっと温かく応援してくれます。しかし、頑張るのは自分自身であることを忘れないでください。新時代にふさわしい学校づくりができるように新入生に秘められた底力を大いに期待しています。

「誓いの言葉」

尚志コース新入生代表髙橋和希さん

暖かな春の訪れとともに私たち112 名は、本日聖ウルスラ学院英智高等学校二」入学することができました。この学校で学ぶことができる以上、私たちは日々の授業を真剣に取り組み、学校生活でのルールを守り過ごしていきたいと思います。

私たちは勉強と部活動を両立させ、 目標の進路に向けて頑張っていきたい です。勉強では予習復習を怠らずに授 業に取り組み、部活動では、今まで以 上に努力をして先輩方についていける ようになりたいです。

様々な志を持った人が集まるこの尚 志コースで私たちは、それぞれの夢や 目標に向けての新たな一歩を踏み出 し、大きく成長していきたいです。そ して、日々の生活やいろいろな体験を 通してあらゆる場面で多くのことを学 び、仲間と助け合い、切磋琢磨しなが ら自分自身の可能性を広げていきたい です。そして、それぞれの夢を叶える ために支えてくれている周りの人への 感謝の気持ちを忘れずに充実した高校 生活にしていくことを誓います。





「誓いの言葉」

特志T2コース新入生代表河端愛栞さん

暖かな春の光の中で、さくらとともにあたらしい季節への期待が花開く頃となりました。私たち特



別志学コース t y p e 2新入生106名 は無事に聖ウルスラ学院英智高等学校の 入学式を迎えることができました。新型 コロナウィルスの影響が長引く中、この ように立派な入学式を執り行ってくださ り、ありがとうございます。これからこ の学校で過ごす3年間への明るい希望を 胸に、今日、高校生活の第一歩を踏み出 します。

私は、特別志学コース t y p e 2で、 学校での勉強や部活だけでなく、漢検、 英検の取得や音楽・I Tなど興味のある 分野の学習に主体的に挑戦し、自分の世 界を自分の手で広げていきたいと思って います。しして、3年後、自分だけに輝 く個性や長所を生かして社会に貢献でき る新成人であることを目指し、「成長して いくつもりです。

この先3年間の中で、悩み、うずくまってしまうことがきっとあると思います。そんな時には、ここに集まった仲間たちと手を取り合い、何度でも立ち上がって、その度に少しずつ成長していきたいと思います。これからお世話になる先生方をはじめとするとする多くの皆様、私たち新入生を優しく、そして時に厳しく導き、見守って下さるようお願いいたします。志を常に高く持ち努力を怠ることなく、互いに高め合いながら日々自らを磨いていくことを新入生代表としてこに誓います。

「誓いの言葉」

特志T1コース新入生代表庄子侑杜さん



桜の花が咲いて、春の日差しが暖かく降り注ぐ季節となりました。こ の四月のよき日に、私たち53名は入学します。今日こうして無事に会 して入学式を迎えられたことに感謝したいです。

私たち t y p e 1 生は、2 年半後の大学受験を通過点として、自立した成人になれるように高校生活を送っていきます。その実現に向けて、日々の学習に対して謙虚に、向上心を持って取り組んでいきたいです。また、自分だけの世界で物事を見るのではなく、広い視野を持つことも大切だと思います。仲間と切磋琢磨しながら、様々な問題に対しての見方を広げるこ

とができるように自分を高めていきたいです。

日々、この学習環境に感謝し、自分の伸びしろを信じて、仲間たちとともに目標達成に向けて果敢に挑戦することを誓います。

聖ウルスラ学院英智高等学校対面式

尚志コース生徒代表挨拶 土屋和心美さん

仙台でも桜が満開の季節となり、私たち尚志コース 112 名は、これから始まる高校生生活に 対する期待と不安を胸に、聖ウルスラ学院英智高等学校に無事入学することができました。

まず、今日私たちのためにこのような式を行ってくださった先生方や先輩方に感謝いたします。私は、これからこの学校の一員として、学校行事などに積極的に参加しながらも、勉強と部活を両立しながら頑張っていきたいです。勉強面では約2年半後の大学受験を見据えて、毎日に自宅学習をしっかりやっていきたいです。たとえ、部活などが忙しくても、休み時間を使うなど、時間の使い方などを工夫して十分な勉強時間を確保したいと思います。また、自分の苦手な教科や今まで学習してこなかった分野などに挑戦し、自分の視野や可能性を広げていきたいです。部活では、先輩方の背中をしっかり追いながら仲間と切磋琢磨し、目標としているところにたどり着くまで、努力をしていきたいです。中学生時代は目標を達成することができず、高校で目標達成するには、今までの二倍、三倍の努力が必要になります。そのため、一日一日の練習を大切にし、常に全力で取り組んでいきたいです。

今後、高校生活を通して、不安なことや辛いことがあるかもしれません。その時は、新しい仲間と助け合いながら乗り越えていきたいです。また、新しい生活に慣れるまで先生方や先輩方に迷惑をかけてしまうことがあると思いますが、優しくも時には厳しいご指導を宜しくお願いします。

特別志学コース t y p e 2 生徒代表挨拶 森 一繁さん

暖かい春、日差しが気持ち良い季節に なってまいりました。まず、何よりもこ のような式を開いていただきありがとう ございます。私たちは高いレベルの学習 を受けることができる上に、自分のした いことが自由にできる時間が設けられて いる特別志学コースタイプ2という恵ま れたコースに入ることができました。し かし、私たちはこの様なすばらしい点を 感じるとともに、文武両道を実現するに は、高い向上心や不断の努力が必要にな り、とても大変だと感じています。しか し、先輩方はこのような大変さがある中 でも文武両道を実現させています。私は この先輩方の姿を見て、先輩たちを目標 に成長していこうと思っています。私は 陸上競技部に入り、やり投げで東北大 会、さらには全国大会に出場することを 目指すとともに、自分の将来の夢の実現 のために目指している大学へ進学するた めに、学習をおろそかにしないという目 標を立てました。やはり、この目標を実 現するのは大変なことだと思います。し かし、先輩方のように日々着々と努力を していき、この目標を実現していきたい と思います。また、この先自分たちの後 輩にもこの様な先輩方の姿を自分たちが 体現し、受け継いでいけるように日々努 力をしていきます。先輩方には生活面、

部活面、また、 学習面などの様々 な場面でお世話に なることがとても 多くなると思いますが、私たちを宜 しくお願いします。



伊達伯爵邸跡石碑

特別志学コース t y p e 1 生徒代表挨拶 齋藤ひなたさん

本日は、私たち新入生 のためにこのような式を 開いていただきありがと うございます。

私たち53人は、聖ウ ルスラ学院英智高等学校への入学を許 可され、この学校の生徒となりまし た。そして、胸一杯の希望とともに、 三年間の生活を歩みだしたところで す。 type1生として、自ら学習に 励むとともに、学ぶ姿勢を通して自分 を高めることで、最終的には、私の志 である薬剤師としての自分に到達でき るよう、特に理数科に力を入れて少し ずつ着実に学習を続けていきたいで す。しかし、新しい環境の中で、新た な人間関係を形成していくこと、高校 のレベルが高い授業についていけるか ということなど、不安があるのも事実 です。

そんな中でも、何事にも努力を惜し まず、様々な困難を乗り越えて行きた

いでは迷まかは、まないでは迷まから、ないのでは迷まがいいでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、いいのでは



聖アンジェラ・メリチ像